

特集

子ども議会

～私たちが考える より良い中野市の未来～

1月12日、市役所議場において「子ども議会」を開催しました。

子ども議会は、中野市の将来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらうとともに、まちづくりに進んで参加する意欲を育てるため開催しています。

本年度は、中野小学校の6年生、152人が4グループに分かれて参加し、議員となった8人の皆さんが質問・提案を行いました。





えがの はるか 江川 遥 議長



中野小6年1組の皆さん

はなないかと考えます。きず、今のテレビにはとても不便さを感じています。そこで、テレビを新しく、大きなものにしていただくことができれば、私たちを含め全校の皆さんがお昼の楽しいひとときやクラスでの充実した時間を過ごすことにつながるのではないかと考えます。

たものになると思います。へ生放送もできます。近藤さんも、これから先生や放送委員会の人たちと色々な使い方を考えて、自由な発想で学校にあるこれらのデジタル機器を使っていただければ、皆さんの授業や児童会活動が、より一層楽しく、充実した

《質問》 私たちの教室には、テレビが1台あります。しかし、そのテレビはとても画面が小さく、お昼の放送で全校にビデオ放送を流すときにも、何を映しているのか細かいところまでよく見えません。また、テレビは教室の黒板横にあるため後ろの席にいる人にとってはなおさら見えづらいので、映像を見て楽しんだり友だちと話題にしたりすることができません。DVDなどの映像を見ることもできず、今のテレビにはとても不便さを感じています。そこで、テレビを新しく、大きなものにしていただくことができれば、私たちを含め全校の皆さんがお昼の楽しいひとときやクラスでの充実した時間を過ごすことにつながるのではないかと考えます。

《答弁》 小嶋教育長 教育委員会では、テレビを新しくする代わりに、電子黒板機能の付いたプロジェクトターを各学校の教室へ順番に設置を始めています。このプロジェクトターがあれば、黒板に大きな画面で教科書や写真を映したり、DVDを見たりすることができず、今のテレビにはとても不便さを感じています。そこで、テレビを新しく、大きなものにしていただくことができれば、私たちを含め全校の皆さんがお昼の楽しいひとときやクラスでの充実した時間を過ごすことにつながるのではないかと考えます。

テレビを新しく、大きなものに



こんどうまいか 近藤舞佳 議員



ぼくたちの生活が少しでも快適になるために エアコンを設置してほしい

《質問》 ぼくたちが通っている小学校は、夏になると学校中が蒸し風呂のように暑くなります。暑いときで室内の温度が40度近くまで上がったこともありました。いくら学習をしたいという意欲があったとしても、これではみんな集中することはできず、むしろ熱中症などの危険が隣り合わせです。現在使用している扇風機では、遠いところまで風がいかないために、涼しい風に出ることができない人が出ます。また、エアコンだと細かい温度調整ができるので、寒すぎたり暑すぎたりすることがなく、体調不良を訴える人も少なくなると思っています。このようなことから、エアコンの設置は必要であると思えます。

《答弁》 小嶋教育長 現在、市内の全小中学校の保健室とコンピュータ室にエアコンが既に設置されています。また、熱中症などの対策として、図書室と音楽室へもエアコンを順番に設置し、一時的に暑さをしのぐ場所を確保したり、小学校低学年の教室から各学校へ順番に天井扇風機を設置するなど、皆さんが学校の勉強に集中できるように学習環境の整備をしています。高野さんの提案のとおり、各教室にエアコンを設置すると、工事費や電気代など多額の費用が掛かり、すぐに設置するのは難しい状況ですが、扇風機の効果や教室の暑さの様子も注意してみながら、教育委員会でも研究していきたいと思っております。



たかのりんたろう 高野倫太郎 議員

